

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2018.7) 平成29年度:94-95.

永久ストーマを造設した全盲患者のストーマケア支援

本間 美穂, 日野岡 蘭子

永久ストーマを造設した全盲患者の ストーマケア支援

旭川医科大学病院 看護部

○本間 美穂 日野岡 蘭子

倫理的配慮

発表について本人へ口頭で同意を得た

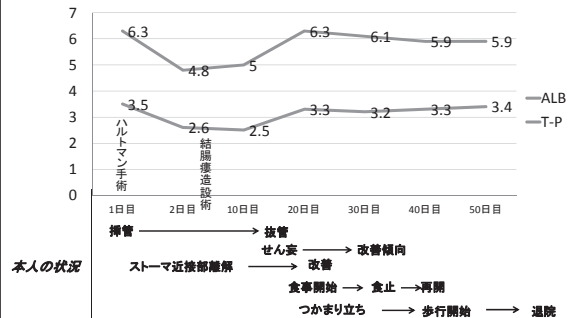
Asahikawa medical University Hospital Nursing department

症例

60歳代男性
 現病歴) 直腸S状部癌穿孔
 ハルトマン術、結腸瘻造設術施行
 既往歴) 両網膜色素変性症があり20年前より全盲
 同居家族) 全盲の弟
 就労) あん摩マッサージ指圧師

Asahikawa medical University Hospital Nursing department

経過

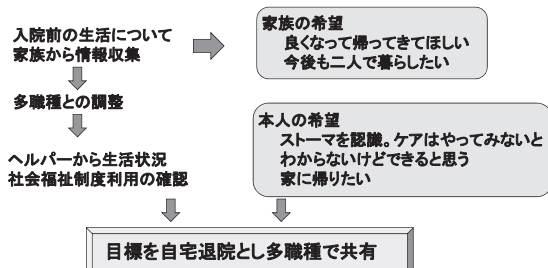





ストーマケアに関連した看護上の問題

1. 緊急手術であり、本人がストーマ造設となったことを受け止めることができない可能性がある
2. 患者は全盲であり、セルフケアできない可能性が高い
3. 退院後に家族からの支援を得ることは難しい

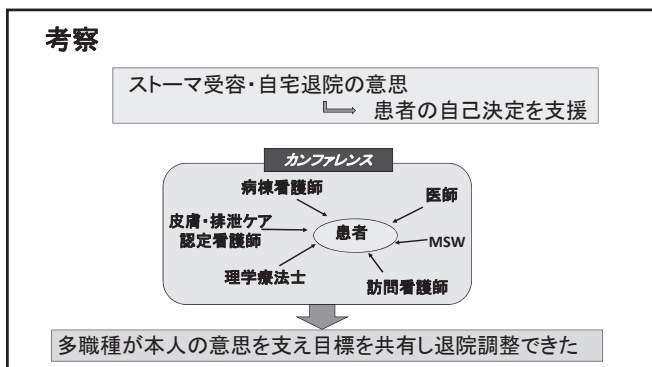
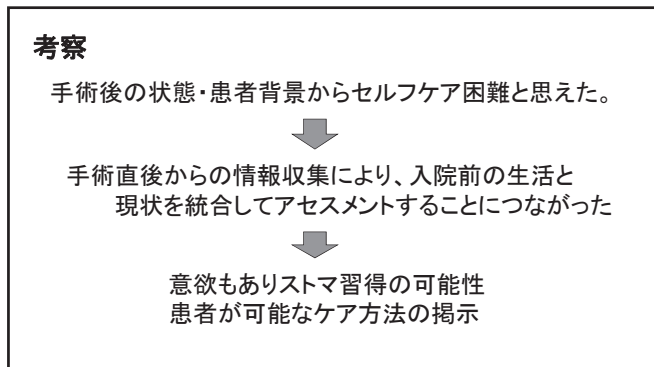
Asahikawa medical University Hospital Nursing department

結果



結果		術後1日目	術後29日目	術後65日目
ストーマ				
		縦10cm×横9cm×高さ5cm 9時方向が離開	基部 5cm×5cm×2.5cm 最大径 7.5cm×6cm	3.8cm×4.5cm×3.5cm
セルフケア 指導	看護師管理		ストマ袋が膨らんだら知らせる ストマモデル・器具に触れ 構造を知る 便乗練習	二品系器具でストマに 触れながら面板が貼付でき ストマケア可能 安全なストマケアのため 訪問看護導入

Asahikawa medical University Hospital Nursing department



- まとめ**
- 自宅退院を可能にした要因**
1. セルフケア習得の意欲と自宅退院の意思決定を支えた
 2. 早期から多職種と連携し情報・目標を共有した
 3. 情報共有するために連携と調整役をWOCが担った
- Asahikawa medical University Hospital Nursing department